

様式1

令和6年度 学校評価表

学校教育目標	自他を尊重し、主体的に学び続ける子どもの育成		
a ミッション	小中連携教育の充実による主体性・表現力の育成	a ビジョン	(1) 児童も教職員も生き生きと活動するあたたかい学校 (2) 環境が整った規律ある落ち着いた学校 「我が校に清あり静あり緑あり」 (3) 家庭・地域から信頼され、共に歩む学校

尾道市立因北小学校

評価計画					自己評価					学校関係者評価				改善計画
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
か 自ら学び、いきいきと表現する力を育てる。	自らを表現する力の育成	「かかわる」「表す」「深める・広げる」授業づくりを進める。（きらきら）	国語科の単元テストの記述式回答（活用）の通過率76%以上もしくは各学年で設定した書き方ができる児童76%以上	76%										
	基礎・基本の定着	「やりたい!」「できた!」と児童が夢中になる授業づくりや学力補充をする。（わくわく）（こつこつ）	国語科・算数科（知・技）の単元テストの正答率80%を上回る児童86%、60%を下回る児童8%未満	86% 8%										
やさ 心豊かな人間性を培う。	道徳教育の充実を通じた自尊感情の育成	安心できる学校・学年学級づくりを進め、社会（ひと・こと・もの）とのかかわりを仕組む。（わくわく）（きらきら）	自分に対し、肯定的にとらえている児童80%以上	80%										
	「3つの宝」を通じた思いやりの育成	3つの宝の「やるぞ!」「できた!」の可視化を工夫し、児童にやり切った実感をさせる。（こつこつ）（きらきら）	「3つの宝」を実践している児童85%以上	85%										
たくましく 目標の実現に向け、粘り強くやり抜く力を育てる。	体力の向上	授業や外遊びを工夫したり、運動環境・機会を設定したりすることで、児童が進んで運動をする意欲を育む。（わくわく）（こつこつ）（きらきら）	「運動（外遊び）が好き」という質問に対する肯定的回答の児童が85%以上。	85%										
	よりよい生活習慣の確立	児童が日々生活習慣を意識して過ごしたり、自分の生活を振り返ったりすることで、適切な生活習慣を身につける。（こつこつ）（きらきら）	自分の設定した就寝時刻を守って生活することができる児童80%以上	80%										
共創	子どもと共に学び合う教職員集団	教職員が子どものために創意工夫できる場と取組の共有化	子どものためになった教育活動の交流と業務改善への参画（1プラス1マイナス運動）	「わくわく」「こつこつ」「きらきら」のためになる活動に参画できたと感じている職員85%以上	85%									

【自己評価 評価】

A: 100≦(目標達成)
C: 60≦(もう少し)<80B: 80≦(ほぼ達成)<100
D: (できていない)<60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。